

中学校 第1学年 社会科（歴史）学習指導案

山梨県富士川町立富士川中学校
教諭 佐野 真也

単元名

第4章 2節 天下統一への歩み（3時間）

単元のねらい

- 織田・豊臣による天下統一事業から、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響を考える。
- 織田・豊臣による天下統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解する。

本時のねらい

- ヨーロッパや東アジアから新たな文化がもたらされて、生活にも広く取り入れられていったことに気づく。
- 桃山文化の特色や民衆の文化の広がりについて、戦国大名や豪商などの担い手、戦乱の世相との関わりから理解する。（第3時）

指導時期

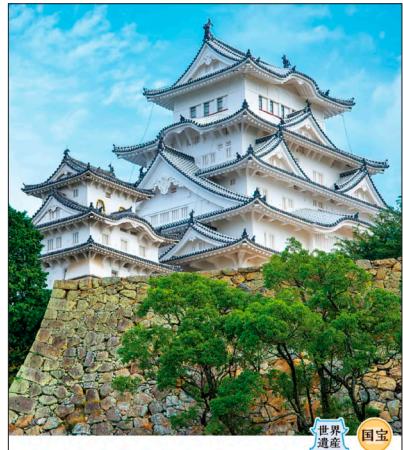
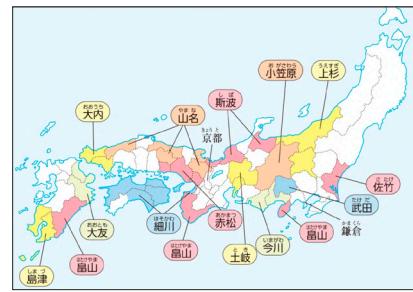
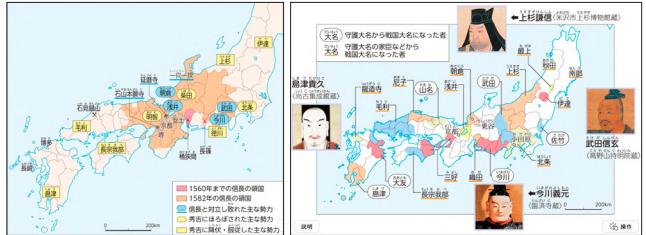
2月下旬～3月上旬

指導者用デジタル教科書（教材）活用の意図・目的

本時は文化を比較の手がかりとして、中世社会から近世社会への時代区分の変化を見渡すことを目的としている。そのためには多くの資料を参照する必要があり、指導者用デジタル教科書（教材）は、複数の時代の変化を捉える活動で活用することで、資料検索の時間を大幅に短縮することができる。そして、捻出した時間で資料を読み解き、話し合い、考察する作業を行うことで、より深い学びを実現する手助けとなる。

本時（第3時）の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●「指導者用デジタル教科書（教材）」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 <p>●4人グループで学習を進める。 p.112資料1「姫路城」の特徴を読み取る。 ※教科書記述も参考にする。 T：姫路城の写真を見て、グループで気づいたことを話し合おう。 S：とても白い S：天守がある。</p>	 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 最初のページを開く × おわる </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 目次を開く 本だなへ戻る </div> <div style="margin-top: 10px;"> 前回の続きを聞く </div>

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<p>T : 城とは本来どんな機能をもつものだろう？ S : 大名の住居 S : 戦の時の本拠地</p>	
展開	<p>本時の課題 中世社会と近世社会の違いを権力のあり方に注目して説明しよう。</p> <p>T : 室町時代、安土桃山時代の権力者はどちらも武士だが、その支配の違いは何だろうか、グループで考えてみよう。 S : 安土桃山時代の方が室町時代よりも広い範囲を一人の大名が治めている。 S : 秀吉の時には全国的な政策が行われている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> p.77資料5「主な守護大名と、その領地（1365年ごろ）」、p.85資料5「主な戦国大名と、その領地（1560年ごろ）」、p.109資料5「信長・秀吉の支配の広がり」を比較するように促す。その際、p.109本文「秀吉の天下統一」の内容も参考にする。   <ul style="list-style-type: none"> p.94上部資料、p.108資料3「安土城」、p.109資料6「大阪城」を順に表示する。   

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用									
展開	<p>T：中世社会と近世社会の違いを考えてみよう。 T：グループでの話し合いをもとに、城の機能の変化を考えてみよう。 S：戦いの機能よりも、権力を示す機能を強化するようになった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> p.87資料4「銀閣と同じ敷地内にある、東求堂同仁斎の書院造の部屋」、p.112資料2「唐獅子図屏風」、資料3「書院造の広間」を示し、大名や豪商の気風を反映していることを確認する。   									
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 中世と近世の権力のあり方を、城のつくりや支配地域の違いから検討し、中世から近世への時代変化を生徒が説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> マトリックスなどの表に考えをまとめ、授業支援ツールでクラスに共有する。 <table border="1" data-bbox="832 900 1473 1185"> <tr> <th></th><th>中世</th><th>近世</th></tr> <tr> <td>城のつくりや内装</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>権力者や権力の広がり</td><td></td><td></td></tr> </table>		中世	近世	城のつくりや内装			権力者や権力の広がり		
	中世	近世									
城のつくりや内装											
権力者や権力の広がり											

指導者用デジタル教科書（教材）を活用したことで得られた効果

本時の展開は単元全体のまとめの位置づけで行うことを想定している。南蛮文化や民衆の文化は本時の前か後で別時間として授業することになる。文化の内容はそれぞれの時代のまとめや補足として扱うこともあるが、本時は文化を中心として時代区分の変化に着目し、歴史を大観することを目指している。

指導者用デジタル教科書（教材）を使用することで、複数ページにまたがる資料や既習事項などをタブ機能等で事前に準備することができる。そのため、ページめぐりや資料の検索にかかる時間を大幅に短縮し、生徒が資料を読み解き、話し合い、考察する時間を十分に確保することができた。視覚的な資料を用いた生徒主体の活動を確保することで、教師からの一方的な講義形式による説明よりも知識の定着と思考力の育成に大きな効果が期待できる。

このような多くの資料から生徒が主体的に考察を深める授業を行う際に、指導者用デジタル教科書（教材）は非常に有効であると考える。